

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅲ-4-6 再生可能エネルギーの利活用の推進
---------	--------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	地域政策課長 小村浩二	電話番号	0852-22-5082
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	島根県再生可能エネルギー利活用総合推進事業		
目的	(1) 対象	市町村及び県民	
	(2) 意図	・県内に豊富に存在する再生可能エネルギー資源の地域実情に応じた利活用策を調査・研究することによって、地域資源の有効活用や県内産業の活性化、地域防災力の強化など、地域活性化に資する再生可能エネルギーの導入を促進する。	
事業概要	県内に豊富に存在する再生可能エネルギー資源を有効に活用し、産業振興や雇用の創出など地域の活性化を図る。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	新エネルギー利用度	年度					単位	
			23年度	24年度	25年度	26年度	27年度		
式・定義	太陽光発電、風力発電、バイオマス発電の導入量（発電出力）の合計	目標値		245,152	265,519	285,885	305,800	kW	
		実績値	171,898	180,904	223,164	266,127			
		達成率		73.79	84.05	93.10			
式・定義	指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
			目標値		0.00	0.00			
			実績値	0.00	0.00	0.00			
式・定義	達成率							%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	160,202	514,376
うち一般財源 (千円)	1,897	2,583

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

<ul style="list-style-type: none"> <li>太陽光発電の導入（発電出力）目標達成率（H26実績/H26目標） 50.7% 7%</li> <li>バイオマス発電の導入（発電出力）目標達成率（H26実績/H26目標） 66.3% 3%</li> <li>風力発電の導入（発電出力）目標達成率（H26実績/H26目標） 50.8% 8%</li> </ul>
--

6. 成果があったこと（改善されたこと）

<ul style="list-style-type: none"> <li>太陽光発電は、国の固定価格買取制度や県補助金制度の創設等により、急速に導入量が拡大した。</li> <li>バイオマス発電は、平成27年度に県内2ヶ所で発電が開始された。</li> <li>風力発電設備も現在、建設中であることから、今後発電量の増加が期待できる。</li> </ul>
---

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<p>①困っている「状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>太陽光発電は、固定価格買取制度の創設や開発期間等が短いことから、導入が進んだが、風力発電やバイオマス発電はこれまでは導入が大きく進んでいない。</li> <li>売電にまで至らない小規模な再生可能エネルギーの利活用が進んでいない。</li> </ul>
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>風力発電は、初期投資が多額なことや発電施設の立地に限りがあること等の理由により導入が伸び悩んでいる。</li> <li>木質バイオマス発電は、事業化に際して安定的に燃料調達を行うことが可能な体制を構築することが重要である。</li> <li>小規模再生可能エネルギーの利活用方法についても用途や発電効率の向上が十分でない。</li> </ul>
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県としては木質バイオマス発電の導入を促進するために、林地残材を大量かつ安定的に集荷するための流通体制の強化や人材の確保を支援していく必要がある。</li> <li>小規模分散型の再生可能エネルギーの研究開発の加速化。</li> <li>再生可能エネルギーの利活用が、地域づくり、地域活性化へつなげることの理解促進と需要拡大が課題。</li> </ul>

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

<ul style="list-style-type: none"> <li>再生可能エネルギーの導入拡大は、小水力、バイオマスなど多様な地域資源の活用、自立分散型のエネルギー確保、地域づくりや地域活性化につながる事柄でもある。このため、県と市町村を構成員として設置した島根県再生可能エネルギー導入促進協議会を通じて、市町村と連携しながら、導入促進のための施策検討を進めるとともに、事業計画者に対して必要な情報提供、助言、指導を行う。</li> <li>「再生可能エネルギー及び省エネルギーの推進に関する基本計画」や「島根県再生可能エネルギーの導入の推進に関する条例」に基づき、引き続き、再生可能エネルギーの導入促進を支援していく。</li> </ul>
---

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）

--